

Crescendo

M E D I K I T A R T S C E N T E R くれっしえんど

 **メディキット 県民文化センター**
MEDIKIT ARTS CENTER

 **宮崎県立芸術劇場**
MIYAZAKI PREFECTURAL ARTS CENTER

vol.119



©Erik_Weiss



©Harald Hoffmann

ベルリン・ドイツ交響楽団



モーツァルト歌劇『フィガロの結婚』～庭師は見た！～新演出

えんげき・とれたて新鮮市

特別企画 とれたてトーク

芸術の秋クラシックシーズン企画

怒涛の3公演!

永松先生の芸能さんぽ

'15みやざきの舞台芸術シリーズII



スウェーデン放送合唱団

宮崎のテーマを 宮崎弁で宮崎の人たちが…

先日、市民プラザで劇団ペテカンの「蛭の頃」というお芝居を観ました。東京の劇団ですが団員に延岡出身の方がいて、昭和30年代に延岡に実在したキャバレー「シスター」を舞台に脚本を書き、自らも出演して「延岡弁」の芝居に仕立てたものです。驚いたのは延岡弁なのに、おそらく他県の人が聞いても違和感なく楽しめる工夫がしてあること。そして半世紀以上前の時代で一地方の物語なのに、今の私たちやよその地域の人が見ても感じ考えさせられる仕上がりになっていることでした。

母1人子1人の少年が、母親が勤めるキャバレーという特殊な環境で、事件や周りの人たちの様々な物語に囲まれて成長する。やがて老いた母親を看取りながらあの時代と人とそして母の生き様を思いやる…という話ですが、今や失われつつある地域や職場のコミュニティが持つ温かさや強さを、理屈ではなく訴えかけてくるものでした。

宮崎を舞台にそこにあるテーマを描き、宮崎弁でやる演劇の可能性…といったことを、私は客席で考えていました。少子高齢化、限界集落、シャッター通りといった全国どこにでもある地域のテーマを、宮崎を舞台に宮崎弁で作れないか、そのことで県外の人たちにも共感を抱いてもらうことは可能ではないだろうか…劇場が取り組む新たな“宮崎発信事業”…

たまたま大津貞子さんの童話をいくつか読む機会がありました。宮崎で長年書き続けられ、書く仲間を増やされてきた方ですが、そこには今のTVやインターネットの世界が置き去りにしてきた“生身の子どもたち”の物語が丁寧に心に沁みる言葉で描かれています。出てくる会話は宮崎弁です。家族や友人そして地域の人々と重ねる日常のちょっとした事件や出来事を通して、世の中や人を見る目、自分を見つめる心といったテーマがさりげなく伝わってくる作品です。

例えば大津さんの童話を戯曲化できないだろうか…或いは大津さんに限らず舞台化できる題材はあるのではないだろうかとも思います。劇場では毎年「みやざきの舞台芸術」シリーズで若い人たちに音楽や演劇の企画を求め、発表の場を提供していますが、今年も募集の時期がやってきました。その中に私が夢想する宮崎発信の企画があればいいなと思いますし、劇場自身がそうした企画を創りだしていくことにも努めたいと考えています。

公益財団法人宮崎県立芸術劇場理事 佐藤寿美

🎤 今回、「えんげき・とれたて新鮮市」の全国公募枠に応募した理由は？

大迫▶ 今、熊本を拠点に「不思議少年」で活動していますが、高校まで過ごした故郷の「宮崎」を、宮崎の人達と一緒に描きたいと思ったのがきっかけです。

森岡▶ 単純にただの公演として応募したわけではなく、「みやざき演劇若手の会」と一緒にできる企画というのが一番大きかったと思います。このご縁から、いろんなつながりや、新しい動きが生まれていけばいいなという期待もこめて。

🎤 熊本からみて、宮崎の演劇はどのように映っていますか？

大迫▶ 三股町の『まちドラ!』*1と、県劇さんの『演劇・時空の旅』シリーズ*2の2つの大きな企画は、外から見ても県外に向けてラインが繋がっているように感じますね。また、僕自身、宮崎で高校演劇をやっていましたが、一泊2日で「演劇を作ろう」というような講習会があったりして、宮崎はそういう講座関係も充実している印象があります。それと余談ですが、出演者の一人、古賀雅人さんは、実は高校演劇の1つ先輩です(笑)。これも縁ですね。

🎤 逆に、宮崎から見た九州演劇の活動をどう感じていますか？

伊藤▶ 他県の活動って行かないと見えてこないの、できるだけ観に行きたいと思っています。県外の人達は、やる気あって野性味にあふれている印象が強いかな(笑)。やりたかったらすぐ行動に移すし、実現するスピードが早いイメージがあります。他県に比べて、宮崎はまだ劇団の全体数が少ないので、切磋琢磨しやすい環境があるというのはいらやましいですね。

🎤 「不思議少年」は今年、劇王天下統一大会2015(以下「劇王」という短編演劇の全国大会で、日本一になりましたが、全国からみて九州の演劇はどうですか？

大迫▶ 熊本に移り住んでみて、宮崎のことがわかるように、「劇王」に出て、逆に九州の演劇を客観的にみることができました。正直、全国からみても九州面白いです!!九州は、各地でいろんな面白い劇団が出てきているし、県境を越えて一緒に公演をやったり、勝負したりと刺激しあえる場が充実しているのいいのかなと思います。若手でいうと、「演劇戦国時代」がやってきているな…という感じです!

森岡▶ 私達が演劇をはじめたころは、九州演劇の中心は福岡だったような気がするけど、今は、各地でのろしが上がりはじめていて、どこがメインっていう事ではなくなってきていますよね。「不思議少年」が日本一になったこともそうですけど、高校演劇でも、大分県立大分豊府高校が全国優勝したり、熊本の劇団「ゼロソー」さんが九州戯曲賞を受賞したり。

若手えんげき“戦国時代”到来!



「みやざき演劇若手の会」伊藤海、「不思議少年」森岡光、大迫旭洋

10月に開催する演劇フェスティバル『えんげき・とれたて新鮮市』では、「みやざき演劇若手の会」と、破竹の快進撃で注目をあつめる若手カンパニー「不思議少年」(熊本)が、それぞれの作品を2日間にわたって上演!公演に先がけ、「不思議少年」代表の大迫旭洋さん(宮崎県出身)・女優の森岡光さんと、「みやざき演劇若手の会」会長の伊藤海さんにお話を聞きました。

大迫▶ リレーで上演するから、つなぎ目が面白いポイントになりそう。初めて聞く形式なので、どんな化学反応が起こるのか楽しみです。

伊藤▶ 総合演出を立ててやるので、つなぎ目はこれからなるんですけど、参加する団体のそれぞれのカラーや、培ってきたものが反映されたものになると思うので、面白い作品になると思います。さっそく参加する団体からは、「それぞれ違うものになるから」と言われています(笑)。

🎤 今回上演する『南の国から』は、宮崎が舞台で、出演者も宮崎でオーディションして決められましたが。

大迫▶ 今いる熊本は隣の県ですけど、一步離れたところから宮崎をみて、改めて宮崎という土地(故郷)が面白いテーマだと思って。今回は、日本神話や古事記も絡め、日本のはじまりから現代にいたるまでの宮崎ドラマを描きたいと思っています。オーディションで本読みした時にめちゃくちゃ面白かったですよ。宮崎の空気をずっと吸ってきている方達なので、宮崎の匂いが出てくるんですよ。この説得力はなんだろうと(笑)。こりゃ面白い作品になるぞと確信しています!

森岡▶ 最近土地との出会いを大切に作品づくりをしているので、今回、宮崎の人達と一緒に作品を作るのを楽しみにしています。やるからには、我々の持ち味も活かして盛大にやってみようと思っていますよ(笑)。

🎤 「みやざき演劇若手の会」は今回新しい試みをしているとか。

伊藤▶ タイトルに“とれたて新鮮市”が入っていますし、若手と呼ばれる団体ですから、毎回フレッシュであり続けなければいけないなと思っています。今回は、九州の若手俳優さんも巻き込み、太宰治の「走れメロス」を3団体で分割して「リレーションシップ」というカタチで1本の作品を上演します。

森岡▶ 「走れメロス」面白そう!どうしてそういう上演形式になったんですか?

伊藤▶ オリジナル作品をやるのも楽しいけど、まずは多くの人に興味を持ってもらいたいなと思って、作品はメジャーな「走れメロス」に決めましたよね。形式は、メンバーから「作品をぶったぎってつなげたら…」という意見が出て…。個人的にも、太宰治が真面目に作った作品を若手がごっちゃまぜになって1本作ったら面白そうだなと思って、このカタチになりました。

『まちドラ』*1…三股町で2012年から開催している、みま演劇フェスティバル「まちドラ!」三股町のあちこちに小さな会場を設置し、歩きながらさまざまなリーディング公演が楽しめるのが特徴。九州各地から劇団や演出家を集め注目をあつめている。「演劇・時空の旅」*2…2008年度からスタートし、劇場から県内外に発信してきたシリーズ。九州をはじめ国内各地で活躍する俳優らが宮崎に約1か月間滞在し、古典戯曲の名作に取り組む。来年2月には、第3弾「三文オペラ」を上演。

公演情報	えんげき・とれたて新鮮市
不思議少年『南の国から』 10月10日(土) 開場16:30 開演17:00 11日(日) 開場14:00 開演14:30	
【会場】 イベントホール	【作・演出】 大迫旭洋(宮崎出身)
【出演】 磯田渉、大迫旭洋、森岡光(以上、不思議少年)、大浦愛、大迫紗佑里、大城千明、大坪成樹、大村なつみ、大村美由李、折田香純、川野誠也、河野誠、古賀雅人、佐田麻佑花、中武悟、濱砂崇浩、原田千賀子、矢野和代(地元オーディション選抜)	
【入場料】 一般1,800円[当日2,300円] U25割(鑑賞時25歳以下)1,000円	
2作品セット券2,500円 『南の国から』『走れ!メロス』の2作品を両方ご覧いただけます。	
みやざき演劇若手の会企画 RELATIONSHIP THEATRE『走れメロス』 10月10日(土) 開場14:00 開演14:30 11日(日) 開場16:30 開演17:00	
【会場】 大練習室2	【原作】 太宰治
【出演】 ハコペラ(北九州)、ユニット集合住宅(熊本・福岡) みやざき演劇若手の会(宮崎)	
【入場料】 一般1,000円[当日1,300円] U25割(鑑賞時25歳以下)500円	



2006年宮崎公演の感動を再び! 世界最高峰の混声合唱団
スウェーデン放送合唱団



若き天才指揮者! ペーター・ダイクストラからメッセージが届きました!

Message 世界最高峰の合唱団であるスウェーデン放送合唱団と再び日本を訪れるのを、心より楽しみにしています。私自身これまで何度も来日していますが、昔から日本は大好きな国のひとつです。特に日本の聴衆の皆さんは音楽の細部まで丁寧に聴いて下さいますから、素晴らしいコンサートホールで演奏できることは本当に光栄に思います。人の声は最高の楽器であり、大きなパワーを持っていますので、それを感じ取っていただければ幸いです。宮崎の皆さん、是非コンサートでお会いしましょう!

ペーター・ダイクストラ (指揮) Astrid Ackermann

名誉館長の特別ガイド! 青木名誉館長による曲目解説で、プログラムの一部をご紹介します!

今回のスウェーデン放送合唱団の宮崎公演は、全体に平和を願うというテーマがはつきりしているばかりでなく、高度なテクニックによって人の声の美しさを極限まで引き出そうとする意気込みにあふれているように思います。

選ばれている曲は古典から現代曲まで大変幅が広いと思いますが、人の歴史はつきつめればいつも平和と安寧を求めていることが、これらのレパートリーでもよく分ります。

音楽はほかの芸術と同じように、美や真実を求める果てしない旅を続けてきました。スウェーデン放送合唱団が、世界レベルで抜きん出る存在であることは知られていますが、このレパートリーに込められている一貫した平和への願いや、美への限らない挑戦の姿勢を見ると、その名声の高さに納得しないわけにはいかないような気がします。

公益財団法人宮崎県立芸術劇場 名誉館長 青木賢児

モーツァルト晩年の傑作! モーツァルト:アヴェ・ヴェルム・コルプス

モーツァルトが亡くなる半年前の1791年6月、妻コンスタンツェの病気の世話をしてくれた合唱指揮者アントン・シュトルのために作曲されました。カトリックの聖体讃美歌で、聖体祭のミサで用いられており、イエスをたたえる歌として広く知られています。46小節と大変小さな曲ですが、優しい光に満ち溢れており、天的な美しさを持った音楽は世界中で愛され、おそらく永遠に歌われ続けることでしょう。

救いの感謝と喜びの歌! J.S.バッハ:「主に向かって新しき歌をうたえ」

バッハがライプツヒに移り住んで初めて迎えた新年に書いた曲で、新年にふさわしい喜びの賛歌です。第1曲から第7曲まであり、神への感謝と賛美に始まり、「われらの国土と町を飢饉、疫病、そして戦争から守る」と歌っています。最後の第7曲のコラールでは、いきいきとしたパッセージを繰り返し、「アレルヤ(ハレルヤ)」が華やかに歌い上げられて終わります。

至高のアカペラをじっくり堪能 ブラームス:「祝辞と格言」 op.109

1888年に作曲された、無伴奏混声8部合唱曲です。正確には「祝典と記念の格言」というタイトルになっていて、演奏する側にとってはかなりの難曲として知られていますが、聴く側にとっては極めて美しい宗教曲と受け止められています。人の声の美しさを極限まで引き出そうとしたブラームスの名曲の一つで、スウェーデン放送合唱団ならではのコーラスの醍醐味をご期待頂けると思います。

美しいハーモニーが感動を誘う シェーンベルク:地には平和を op.13

スイスの詩人コンラッド・マイヤーが書いた「地には平和を」という詩に、オーストリアの現代作曲家アーノルド・シェーンベルクが無伴奏による混声合唱として曲をつけたもので、シェーンベルクの作品の中でも指折りの傑作とされています。

公演情報	
10月18日(日) 開場13:15 開演14:00	
【会場】アイザックスターンホール	【出演】ペーター・ダイクストラ(指揮)、スウェーデン放送合唱団(混声合唱)
【料金】SS席4,000円[会員3,600円] S席3,000円[会員2,700円] A席2,000円[会員1,800円] U25割1,000円(A席のみ) 親子割2,500円(A席のみ)	

名門オーケストラで聴く、ベートーヴェン! 開館以来2度目の登場!
ドイツの名門楽団 **ベルリン・ドイツ交響楽団**



トゥガン・ソヒエフ(指揮・音楽監督) Erik Weiss

本公演に寄せて、世界中から注目されている天才若手指揮者、トゥガン・ソヒエフさんからメッセージが届きました。

Message 今回、宮崎の皆さんの前で演奏できることは、私にとって大きな喜びであり、名誉なことです。ユリアンナ・アヴデーエワは大変素晴らしいピアニストであり、彼女とベートーヴェンのピアノ協奏曲第3番を演奏できることを、とても楽しみにしています。ベルリン・ドイツ交響楽団と私にとってベートーヴェンは特別な想いのある作曲家であり、宮崎の皆さんが私たち同様、この演奏会を楽しんで下さることを願っております。

本公演で共演するピアニスト、ユリアンナ・アヴデーエワさんは、ショパンコンクール女性覇者(アルゲリッチ以来45年ぶり)! 本公演について“3つの質問を”投げかけてみました。

今回演奏される、ベートーヴェンのピアノ協奏曲第3番の魅力とは?

ベートーヴェンが作曲したピアノ協奏曲の中で、3番だけが短調です。その理由はとても特別だと思います。当時、ベートーヴェンは全く別の音楽用語を用い、新しいピアノ奏法を追究していましたが、モーツァルトのピアノ協奏曲第24番ハ短調に影響されて、この曲を作曲したそうです。個人的にこの協奏曲の素晴らしいところは、エネルギーに満ち溢れていることと、第2楽章はクラシック音楽の中で最も優れている曲の一曲だということです。

作曲家『ベートーヴェン』はどんな存在ですか?

ベートーヴェンの音楽を過小評価することはできないと思います。多方面でありながらもユニークで、今でも作曲家や演奏家たちに影響を与えています。子供のころ、ベートーヴェンの曲を演奏する時はすごく誇らしい気持ちになりました。演奏する際は、彼の音楽に対して大きな責任を感じます。

ベルリン・ドイツ交響楽団と初共演されますが、いかがですか?

今までベルリン・ドイツ交響楽団のレコーディングをたくさん聴いてきましたが、共演は今回が初めてです。このオーケストラには長くて素晴らしい伝統があり、共演できるのを今からとても楽しみにしています。今年の春にマエストロ・ソヒエフと初めて共演する機会がありましたが、彼のエネルギーと、精神性の高い音楽に導く指揮は本当に素晴らしいです。今回、トゥガン・ソヒエフ氏の指揮でベルリン・ドイツ交響楽団とベートーヴェンのピアノ協奏曲第3番を演奏できることを大変楽しみにしています。



ユリアンナ・アヴデーエワ(ピアノ) Harald Hoffmann

公演情報	
11月1日(日) 開場14:15 開演15:00	
【会場】アイザックスターンホール	
【出演】トゥガン・ソヒエフ(指揮)、ユリアンナ・アヴデーエワ(ピアノ)、ベルリン・ドイツ交響楽団(管弦楽)	
【曲目】ピアノ協奏曲 第3番ハ短調 op.37 交響曲 第3番 変ホ長調 op.55「英雄」 ほか	
【料金】SS席完売	
S席9,000円[会員8,100円]	
A席7,000円[会員6,300円]	
B席5,000円[会員4,500円]	
C席3,000円[会員2,700円]	
D席2,000円[会員1,800円]	
U25割 1,500円(C席のみ)	
親子割 7,500円(A席のみ)	

こんな『フィガロの結婚』観たことない!! “新演出”を知ればもっと楽しみになる。



演劇界のカルisma・野田秀樹(演出)と、

クラシック音楽界の異端児・井上道義さん(指揮)の最強タッグにより、

“誰も見たことのない新しいオペラ”が誕生しました!

宮崎公演でも、オーディションにより選抜された合唱団が登場します!



タッグを組んだ、野田秀樹(演出)と井上道義(指揮)

春期公演で、

スタンディングオベーションに沸いた、

“新演出”の見どころをご紹介します!

👉ここが新演出① 長崎が舞台!?

18世紀半ばのスペイン・セビリアが舞台の原作を、本作品では日本と諸外国がまじわる、黒船来航時代の長崎が舞台に!

👉ここが新演出② イタリア語と日本語が飛び交う!?

「フィガロの結婚」はもとも「イタリア語」の作品。有名なアリアは原語で歌いますが、日本人は野田秀樹が翻訳した日本語のセリフを語り、歌います。

👉ここが新演出③ フィガロがフィガ郎!?

フィガ郎(フィガロ)をはじめ、スザンナ⇒スザ女、バルバリーナ⇒バルバ里奈、マルチェリーナ⇒マルチェ里奈、アントニオ⇒アントニ男など、日本人が扮する役名は全て日本語読みなので、親しみ倍増!

👉ここが新演出④ 言葉遊び随所に!?

野田秀樹が得意とする巧みな「言葉遊び」がふんだんに盛り込まれ、思わず笑ってしまう面白いセリフがたくさん飛び出します。字幕もすべて野田さんが手がけています!

👉ここが新演出⑤ 庭師は見た!?

タイトルからもわかるとおり、庭師アントニ男が語り部となって物語は進行!アントニ男役は、オペラ歌手ではなく俳優の廣川三憲さんが演じます。通常、序曲からはじまる冒頭も、アントニ男による語りで幕を開けます!

公演情報

全国共同制作プロジェクト
『フィガロの結婚』～庭師は見た!～新演出
11月8日(日) 開場13:15 開演14:00
【会場】演劇ホール
【指揮・総監督】井上道義 【演出】野田秀樹
【管弦楽】九州交響楽団
【料金】全席指定
SS席8,000円[会員7,200円] S席6,000円[会員5,400円]
A席完売 B席3,000円[会員2,700円]
U25割1,500円(B席のみ) ※親子割の販売は終了しました。

永松先生の

芸能さんぽ

～舞台芸術のルーツを訪ねて～

宮崎には古浄瑠璃が伝えられていることが、意外と知られていないようです。都城市山之口麓では、文弥節人形芝居という独特な人形芝居が年4回に限り演じられています。古典芸能と言えば、何となくお年寄りの好きなお芝居のように思われがちですが、実際に見てみると、初めての方や、学生さんにもわかりやすく、とても人気を博しています。

文弥節というのは江戸時代の初めころ、上方で岡本文弥によって哀調を帯びた節回しを演じたことから始まり、一般に「泣き節」とも言われています。同種の人形芝居は、新潟県の佐渡島や石川県の白山市などに伝えられているのですが、その一つがここ山之口に伝承されているのです。

なかでも、「出世景清」は、平家方の武将、景清が宿敵、源頼朝に仇討をしようと失敗し、牢に投獄されるのですが、怪力を発揮し牢破りをすると見物で、その演出は人形劇とは思えないほどの迫力があります。景清は最終的には、

ここ日向の地に落ち延びることになります。景清の説話は、古くは『平家物語』に少し登場するだけなのですが、室町時代の能「景清」によって日向との関係が説かれるようになり、戦国期に流行した幸若舞で、日向に落ち延びる説話と変化し、さらに発展して、江戸初期に上方で、人形浄瑠璃に姿を変え、最終的には、江戸で歌舞伎十八番として景清が大々的に演じられるなど、全国に知れ渡る演目として、多くの人々に愛されてきました。また、古典落語としても「景清」が語られることとなります。長い歴史のなかで、語られ演じられてきた景清伝説は、宮崎と深いつながりのなかで今も語り継がれています。その証拠として、宮崎市下北方町には、景清の墓と伝えられる石塔が今も静かに佇んでいるのです。



「出世景清」

執筆者プロフィール | 永松 敦 | 1958年大阪府生まれ。総合研究大学院大学文化科学研究科国際日本研究専攻博士後期課程修了。博士(学術)。椎葉民俗芸能博物館・副館長などを経て、現在、宮崎公立大学人文学部・教授。

みやざきの舞台芸術シリーズ

音楽・演劇・舞踊などの舞台芸術活動に取り組んでいる本県出身者を応援するシリーズ!



今年度シリーズ第3弾は、宮崎在住のピアニストグループによる「びあの!ピアノ!Piano!」ピアノの名曲を華麗に披露します。

企画提案者の本田奈留美さんからコンサートの聴きどころなど熱いメッセージが届きました!

Message 本田 奈留美 ほんだなるみ

みなさまはじめまして。

私達4人(本田奈留美、栗原美妃、矢房加奈子、浜月春佳)は国立音楽大学を卒業後ヨーロッパで研鑽を積み、現在は宮崎で演奏活動をしているピアニストです。

クラシック音楽、特にピアノの魅力を伝えるべく様々な活動をしており、これまでも「びあの!ピアノ!Piano!」シリーズを2010年、2013年に公演してきました。前回まではピアノ曲を中心に演奏してきましたが、今回はピアノ曲以外の名曲も盛り込んだプログラムとなっています。

さらに今回の見どころは、なんと!!ステージ上にズラリと並べられた4台のグランドピアノ!!

宮崎在住の服部響氏によって4台ピアノに編曲された、ベートーヴェン名曲メドレー、ラヴェルの『ボレロ』の迫力ある演奏をお楽しみください。

他にも、ピアニスト・横山幸雄氏によって小粋に繊細に編曲されたショパンの『別れの曲』(2台8手)、ピアソラの情熱的な『リベルタンゴ』(2台4手)、おしゃれなジャズアレンジによるホルストの『木星』(連弾)など、様々な音の世界を楽しめるプログラムとなっています。

びあの!ピアノ!Piano!、ぜひご期待ください。

プロフィール

ピアノの魅力を表現すべく宮崎在住のピアニスト4人が集まり、毎回様々なテーマでコンサートを開催。2010年「びあの!ピアノ! Piano! vol.1 ~ピアノの世界に魅せられて~」、2013年「びあの!ピアノ! Piano! Vol.2 ~ドイツ・ライプツィヒに集った作曲家達~」同年、韓国済州島にて「日韓親善コンサート」、西都市にて「クラシックコンサート~4人のピアニストとソプラノによるクラシックコンサート~」に出演。横山幸雄氏のレッスンを定期的に受講



9月12日(土)

チケット発売中

開場10:30 開演11:00

アイザックスタンホール

パイプオルガンプロムナード・コンサート vol.148
土曜日の朝はオルガンでランチを…
『オルブラ』



全席自由
4歳以上500円
なかよしチケット
(4歳以上2人1組)700円
※4歳から入場可



前回の様子(ソムリエに扮した司会者)

Attention(ご注意)

- 記載情報は変更になる場合があります。
- 割引サービスの詳細は、劇場HPをご覧ください。
- 当日券が出る場合は、一般チケットのみ500円増(一部公演除く)になります。

8月29日(土)

開場18:30 開演19:00

30日(日)

開場13:30 開演14:00

イベントホール

リーディングナウ2015『友達』

チケット発売中

作:安部公房 演出:立山ひろみ(宮崎県出身)
出演:あべゆう 大坪成樹 門田靖子 古賀雅人 齋藤建郎 田中克美 長崎侑香
本部悦孝 牧野悦子 松本海斗 山口征誉 山崎秀美 吉田茉咲
全席自由 一般1,500円[会員1,300円] U25割1,000円

9月21日(月・祝)

開場17:30 開演18:00

22日(火・休)

開場13:30 開演14:00

イベントホール

'15みやざきの舞台芸術シリーズI
劇団 go to『タンバリン』

チケット発売中

企画提案者:内村瞳(高原町出身)
福岡で活躍する劇団 go toが、第5回九州戯曲賞大賞を受賞した作品を上演。
全席自由 一般2,000円 学生(小~大学生)1,000円

9月23日(水・祝)

開場14:30 開演15:00

演劇ホール

Disney×Musical×Jazz
島田歌穂with島健ピアノトリオ

チケット発売中

全席指定 一般3,000円[会員2,700円] U25割1,500円
親子割(小・中学生+一般)3,500円 なかよしチケット(2人1組)5,000円

9月27日(日)

開場14:30 開演15:00

アイザックスタンホール

'15みやざきの舞台芸術シリーズII
びあの!ピアノ!Piano! vol.3

詳細はP6▶▶

チケット発売中

全席自由 一般2,000円 学生(4歳~大学生)1,000円 ※4歳から入場可

10月10日(土)

イベントホール

開演17:00

大練習室2 開演14:30

11日(日)

イベントホール

開演14:30

大練習室2 開演17:00

えんげき・とれたて新鮮市

詳細はP1-2▶▶

不思議少年『南の国から』(イベントホール)

チケット発売中

全席自由 一般1,800円 U25割1,000円

みやざき演劇若手の会

RELATIONSHIP THEATRE『走れ!メロス』(大練習室2)

全席自由 一般1,000円 U25割500円

10月18日(日)

開場13:15 開演14:00

アイザックスタンホール

スウェーデン放送合唱団

詳細はP3▶▶

全席指定 SS席4,000円[会員3,600円] S席3,000円[会員2,700円]
A席2,000円[会員1,800円]
U25割(A席のみ)1,000円 親子割(A席のみ)2,500円

チケット発売中

11月1日(日)

開場14:15 開演15:00

アイザックスタンホール

ベルリン・ドイツ交響楽団

詳細はP4▶▶

全席指定 SS席完売 S席9,000円[会員8,100円]~D席2,000円[会員1,800円]
U25割(C席のみ)1,500円 親子割(A席のみ)7,500円

チケット発売中

11月8日(日)

開場13:15 開演14:00

演劇ホール

フィガロの結婚 ~庭師は見た!~新演出

詳細はP5▶▶

全席指定 SS席8,000円[会員7,200円] S席6,000円[会員5,400円]
A席完売 B席3,000円[会員2,700円]
U25割(B席のみ)1,500円 ※親子割の販売は終了しました。

チケット発売中

平成28年度

「みやざきの舞台芸術」大募集!!

あなたの夢を応援!意欲的な企画をお待ちしています♪

応援その① 経費が半額に!

公演制作費の半額を劇場が負担します。(上限額:90万円)

応援その② 制作・運営への支援!

公演の制作と実施のアドバイス、お手伝いをします。

応援その③ 会場は宮崎市以外でもOK!

会場は、県内の公立文化施設であればどこでも可能です。

応援その④ 販売手数料ゼロ円!

チケット販売金は、すべて申請者の収入となります。

応募締切:平成27年10月25日(日)必着

- 募集内容 平成28年度(平成28年4月~平成29年3月)に実施する、音楽・演劇・舞踊等の実演芸能を主とする公演。
- 応募資格 宮崎県在住の方、もしくは本県の学校を卒業された方。(複数名のグループの場合、企画提案者が応募資格を満たしていれば応募可)
- 募集要項 当劇場ホームページからダウンロード可。また郵送でのご案内も承ります。
- 応募・問合せ先 公益財団法人宮崎県立芸術劇場「みやざきの舞台芸術シリーズ」係
〒880-8557 宮崎県宮崎市船塚3丁目210番地
TEL.0985-28-3208 FAX.0985-20-6670
<https://www.miyazaki-ac.jp/>

お問合せ

公益財団法人 宮崎県立芸術劇場
MIYAZAKI PREFECTURAL ARTS CENTER

〒880-8557 宮崎市船塚3-210
<http://www.miyazaki-ac.jp/>

TEL.0985-28-3208 FAX.0985-20-6670
Twitter and facebook随時更新中!「フォロー」と「いいね!」お待ちしております。